



華麗で勇壮な舞と熱気に街中が包まれた「第8回YOSAKOIさせば祭り」

広報

No.661

させば



広報させば 編集長「キューちゃん」

特集 協働の幕開け

2~5p

今月の主な内容

年末年始の市の業務、大気汚染防止など	6~9p
市民の広場	10~11p
施設だより、イベント	12~13p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	22~23p
九じろうの取材日記	24p

12月

2005 December

PUBLIC RELATIONS SASEBO



相浦文化センターでの練習風景



演奏中のメンバー



情も生き生きと
してきました。

「ソーシャル・バンド」はサクソホンやエレキギター、バイオリンなどの演奏者8人に、歌1人と踊り4人で構成され、演奏者の年齢はすべて70歳以上です。毎月2回相浦文化センターで練習し、毎月数回老人ホームなどの慰問に訪れてその成果を発表しています。次第に出演依頼も増え、引っぱりだこの人気です。

九じろうの取材日記

ソーシャル・バンド

長坂町公民館で演奏会

10月22日は、長坂町に住む75歳以上の独居老人のための食事会で演奏しました。この食事はボランティアグループ「長坂町ひまわり会」がお世話をしています。この日は会の結成5周年を記念して、食事の前に音楽会が開催されることになったものです。バンドの代表者・松尾清太さんのあいさつの後、「ワン、ツー、スリー」の掛け声で、演奏が始まりました。「青い山脈」、「君こそわが命」と続け、聴衆は自然に手拍子しながら、歌詞を口ずさみます。「夕焼け小焼け」などの懐かしい童謡、唱歌に移ると、歌の永淵勝興さんは、客席の一人ひとりにマイクを向けて、歌を促しました。バンド演奏に合わせて客席の歌声も次第に大きくなり、表情も生き生きとしてきました。



次に、特別出演の榎山さんが「星の流れに」を熱唱し、大喝采を浴びました。最終曲のラバウル小唄では、松尾さんが客席の一人を舞台に呼び、一緒に歌い始めると大合唱となりました。会場に笑顔があふれ、中には感激して涙を浮かべる人もいました。アンコール曲の後は、炭鉦節となり、客席の人も立ち上がり、にぎやかな踊りの輪ができました。



炭鉦節を踊る参加者の皆さん

人と人とのつながりを大切に
ソーシャル・バンドは平成12年8月に結成され、メンバーの経歴は、プロ活動をしてきた人や、自衛隊の音楽隊員、会社員などです。楽器の演奏をした経験のある人が多く、松尾さんの呼び掛けに応じて集いました。「音楽は自分だけで楽しむよりも、楽しみをみんなで分かち合うことが大事です。現役は退いても、趣味の音楽を通じて、社会性を持つことができます。人と人とのつながりを大切にしたいと思い、ソーシャル（社会的な）バンドと名付

編集長から一言

「広報させば」も12月号の発行を迎え、こども残りわずかになりました。わたしは、毎年この時期になると、「ことしの目標は達成できたかな?」と一年を振り返りますが、ことしも「達成できなかったな」と反省。皆さんにとっては、どのような一年だったでしょうか。(N)



広報 させば

平成17年12月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184 〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/有限会社 日新堂印刷所



この「広報させば」は古紙配合率100%の再生紙と大豆油インクを使用しています。